

JA 粕屋 青年部

I. 基本方針

我々の農業を取り巻く環境は、慢性的な担い手・労働力不足に加え、長引くコロナ禍により農畜産物の需給バランスは一層崩れ、生産物価格の低下につながっている。さらには、肥料・農薬・農業機械などのおおくの生産資材が高騰し経営を圧迫している。

また、近年多発する異常気象や自然災害により先行きが見通せない中、災害と復旧の繰り返しが続いている。県内の農業者の高齢化は歯止めがかからず、担い手や労働力不足、ひいては盟友数の減少が続き、我々の組織基盤を改めて見直す必要がある。

このような中、我々青年農業者はこれまで築き上げてきた活動を継承しつつも、次代につながるための取り組みを行って行く必要がある。

次世代のリーダー育成に取り組む他、各種団体との意見交換を通じ若手農業者の声を届けるなど、山積みする農政課題にも一体となって取り組んでいく。

最後に、我々青年農業者は、次代の農業・地域を支えているという自負のもと、安全・安心な農産物を安定的に供給し、自らの農業経営を確立するとともに、地域の担い手として、地域の活性化に貢献しなければならない。

1. 組織活動の活性化

J A 青年部組織活動の問題点を洗い直し、将来の農業・農村を展望しつつ、青年部の役割を明らかにし、組織の活性化を図ります。

また、J A 青年部盟友が、幅広く参加できる活動を展開します。

2. 消費者対策の強化

次世代を担う子どもたちに、健全な食・環境等を引き継ぐために、生産者・消費者という立場を超えて問題意識を共有し、食育活動に取り組みます。

- 1) 管内小学校学童農園の活動支援
- 2) 支部活動の強化

3. 学習活動の徹底

青年部組織を一層発展させるため、盟友自らの学習活動の強化を図ります。

また、県青協・九青協・全青協等の研修会や大会に積極的に参加し、盟友の資質向上に努めます。

○ 第40回 JA粕屋青年部通常総会



令和4年5月20日、JA粕屋青年部通常総会を開催。令和3年度の活動報告並びに収支決算報告、令和4年度の活動計画並びに収支予算が承認されました。

○ 令和4年度活動計画

	J A 粕 屋	県 青 協 総 会 ・ そ の 他
4月	新旧役員会	福岡地区JA青年部協議会通常総会 JA福岡県青協通常総会・委員会
5月	学童農園（種まき、田植え） 第40回JA粕屋青年部通常総会	九青協通常総会・JA全青協通常総会 青年部長・事務局合同会議
6月	学童農園（田植え） スイーツコーン収穫祭	県青協委員会
7月	学童農園・手作り看板作成 役員会	九青協リーダー研修会（福岡県） 食と農の日記念イベント
8月	役員会	家族交流会（野球観戦） アピール行動
9月	学童農園（稲刈り） JA粕屋常勤役員と青年部との意見交換会	県青協委員会
10月	学童農園（稲刈り） 役員会	福岡県青年部大会 青年部長・事務局合同会議 緑友会福岡県議団との意見交換会
11月	役員会 農業まつり（もちつき）	福岡県農林水産まつり 県青協委員会
12月	役員会	県連役員との意見交換会 九州沖縄地区青年部大会（宮崎県）
1月		JA九青協農業経営対策研修会（鹿児島市） 県農林水産部との意見交換会
2月	役員選考委員会・役員会 JA粕屋青年部歴代役員OB会	JA全国青年大会（千葉県）
3月	役員選考委員会・役員会	県青協委員会
全月	盟友勧誘運動・農業新聞・地上購読推進 車検・組合員の加入促進運動 粕屋ブランドPR活動・認証取得活動	

○ 令和3年度活動報告

○ 学童農園で農業体験学習支援

J A粕屋管内の幼稚園や小学校で、田植え・稲刈りまで一連の農作業を体験してもらい、日本の主食である「お米」がどれだけの手間をかけて食卓に並ぶのかを学んでもらいました。



- J A粕屋青年部古賀支部スイートコーン直売会・医療従事者（東医療センター）へ寄付
令和3年7月4日、サンリブ古賀にてJ A粕屋青年部古賀支部が育てた糖度18度以上のスイートコーンを早朝に収穫し、販売を実施。





○手作り看板作成

令和3年7月18日「農業のある地域づくりの大切さに関する地域住民へのアピール」をテーマに手作り看板の制作を行いました。

